

平成22年度事業報告書

<概要>

- 全国植樹祭（本会場、サテライト会場）や市町村等のイベントに参加し、かながわのナショナル・トラスト運動等の普及啓発活動を行ったほか、WEBサイト、機関誌、新聞折り込み等による広報等に努めた。
- 所有者との新規の緑地保存契約の締結、県内各市町が行う緑地等指定事業への助成及び保存契約緑地等における散策路整備、除伐、草刈り等の緑地管理を実施した。
- 地区推進協議会等と連携して、市町村のイベント等で普及啓発活動を行うとともに、みどりの実践団体の育成、樹木配布により地域の緑化推進に努めた。
- 森林ボランティア活動の推進、森林インストラクターの養成、成長の森事業、新たな活動フィールドの準備などにより、県民の森林づくりへの参加促進に努めた。
- 教育機関、市町村等と連携して緑の募金活動、緑化運動・育樹運動ポスターコンクール等を実施した。また、全国植樹祭の協賛、市民植樹活動への助成、緑の少年団の活動支援等を行った。

<事業実施状況>

1 主な会議の開催

- (1) 第31回運営協議会
開催日 平成22年5月18日（火）
場 所 神奈川県横浜西合同庁舎6B会議室
- (2) 第36回評議員会・第58回理事会
開催日 平成22年5月28日（金）
場 所 横浜ワールドポーターズ
- (3) 第37回評議員会・第59回理事会
開催日 平成22年11月24日（水）
場 所 (財)シルクセンター国際貿易観光会館大会議室
- (4) 平成22年度県主導第三セクター事務事業評価
開催日 平成22年8月27日（金）
場 所 農業技術センター三浦半島地区事務所会議室、小網代の森
- (5) 第60回理事会
開催日 平成23年3月23日（水）
場 所 産業貿易センター720会議室

2 普及啓発事業

(55,882,957円)

(1) 広報事業

みどりを守り育てる運動を県民に周知し、会員登録、基金への募金など運動への参加を促進するために、全国植樹祭、市民祭り等での街頭キャンペーン、ホームページや新聞折込等による広報、自然観察会の開催などを行った。

ア 各種事業などによる会員募集及びPR活動

全国植樹祭、市民祭りなど

イ 自然観察会等の開催

(ア) 自然観察会の開催

- 開催日 平成22年5月8日(土)ほか5回
場 所 山下公園ほか
参加者 計144名
内 容 緑地での植物、昆虫、野鳥、地質などの観察
- (イ) フィールド体験エコツアー
開催日 平成22年6月12日(土)
場 所 泉の森緑地
参加者 計14名
内 容 カントリーヘッジづくり、自然観察
- (ウ) トラスト緑地周遊
開催日 平成22年9月11日(土)
場 所 桜ヶ丘緑地、久田緑地
参加者 18名
内 容 トラスト緑地の植物等の観察
- (エ) みどりの学校(コープかながわとの共催)
開催日 平成22年4月17日(土)ほか3回
場 所 箱根大涌谷ほか
参加者 計66名
内 容 野鳥、植物、地質等の観察
- (オ) 鎌倉歴史見学会((財)鎌倉風致保存会との共催)
開催日 平成22年6月19日(土)ほか1回
場 所 鶴岡八幡宮ほか
参加者 計35名
内 容 鎌倉の社寺の歴史と緑の学習
- (カ) 森林探訪会
開催日 平成22年4月24日(日)ほか1回
場 所 やどりぎ水源林ほか
参加者 計161名
内 容 照葉樹林の学習と散策など
- ウ インターネットによる情報提供
緑地保全、ボランティア育成など財団事業をWEBサイトでわかりやすく紹介し、財団の活動への参加を呼びかけた。
- エ かながわのナショナル・トラスト運動のPR
新聞折込みチラシによる普及啓発、イベント等でトラスト運動リーフレット、パンフレットや森林づくり活動日程表を作成、配布した。
- オ 学校ビオトープ設置支援
環境学習の実践及び自然環境の保護活動を推進する学校が行うビオトープの設置に対して支援した。(2校)
横浜市立本郷台小学校、川崎市立生田中学校
- カ トラストの出前サービス
開催日 平成23年3月25日(金)
場 所 鶴見川下流ほか
参加者 計5名(湘南健康クラブ)

(2) 会員事業

ア 機関誌ミドリの発行

機関誌ミドリを4回発行し会員に送付した。また、県民のみどりに対する理解を増進するため、県行政機関、県立公園、博物館等に配布し利用者閲覧に供した。

号	発行	発行部数	主な内容
77(夏)	22年6月	15,000部	全国植樹祭、県による小網代の森保全、棚田の復元活動
78(秋)	22年9月	15,000部	久田緑地観察会、生物多様性条約COP10、小沢城址周辺整備活動
79(冬)	22年12月	15,000部	葛葉緑地のシカ進入防止ネット導入、学校ビオトープによる環境学習、成長の森見学会
80(春)	23年3月	15,000部	久田緑地の保存契約拡大、小網代の谷保全活動、桜ヶ丘緑地の植生調査

イ トラスト運動電算システム管理

会員、イベント参加者等、顧客情報のセキュリティー対策や入力様式の改善を行い、データの安全性の強化、操作性の向上を図り、トラスト運動の促進に活用した。

ウ 会員数

[]は内、トラスト緑地保全支援会員数

会員種別		平成20年度末	平成21年度末	平成22年度末
普通 会 員	個人会員	12,421名 [121名]	12,409名 [195名]	11,655名 [248名]
	家族会員	23,400名 [155名]	22,862名 [221名]	22,500名 [263名]
	グループ会員	3,279名	3,279名	3,265名
	団体会員	425名 [4名]	425名 [4名]	424名 [4名]
特別会員		332名	334名	333名
名誉会員		6名	6名	6名
会員数		39,863名 [280名]	39,315名 [420名]	38,183名 [515名]
(内、過去1年間に会費の 納入があった会員数)		(11,687名) (29.2%)	(11,496名) (29.2%)	(10,821名) (28.3%)

(3) 緑化協力金

駐車場利用者から20円の緑化協力金を負担していただき、県のトラスト基金への積み立てを行った。

また、緑化協力金制度への理解を得るため、啓発資材の配布等を行った。

なお、現在の協力駐車場は計48箇所である。

3 地域緑化活動事業 (15,333,859円)

みどりの実践団体が行う緑化活動を支援するため苗木の配布及び研修会等の開催をするとともに、市町村、関係団体等の協力を得て、各地区推進協議会の地域の特性を活かした事業を実施した。

(1) 樹木配布事業

地域のみどりのまちづくりに自主的に取り組んでいるみどりの実践団体に樹木を配布することで、地域の緑化を推進した。

- ア 横浜地区みどりの実践団体 14団体
サツキほか8種 1,767本
- イ 川崎地区みどりの実践団体 12団体
イロハモミジほか10種 486本
- ウ 三浦半島地区みどりの実践団体 6団体
サツキほか22種 244本
- エ 県央地区みどりの実践団体 2団体
ドウダンツツジほか6種 326本
- オ 湘南地区みどりの実践団体 11団体
サツキほか18種 742本
- カ 足柄上地区みどりの実践団体 2団体
カワズザクラほか3種 70本
- キ 西湘地区みどりの実践団体 8団体
アジサイほか16種 573本

(2) みどりの実践団体育成事業

地域におけるみどりの愛護と創造を実践する団体に対し奨励金を交付し、その育成を支援した。

初年度奨励金11団体、2年度奨励金14団体

ア 三浦半島地区推進協議会

(ア) 研修会

開催日 平成22年11月25日(木)

場 所 花菜ガーデンほか

参加者 37名

(イ) 交流会

開催日 平成22年12月10日(金)

場 所 横須賀合同庁舎

参加者 24名

イ 県央地区推進協議会

研修会

開催日 平成22年10月28日(木)

場 所 生田緑地

- 参加者 39名
- ウ 湘南地区推進協議会
研修会
開催日 平成22年10月22日(金)
場 所 泉の森
参加者 29名
- エ 足柄上地区推進協議会
交流会
開催日 平成22年11月25日(木)
場 所 フラワーセンター大船植物園
参加者 19名
- オ 西湘地区推進協議会
研修会
開催日 平成22年11月30日(火)
場 所 花と緑のふれあいセンター花菜ガーデンほか
参加者 33名
- カ 緑化樹木テキストの印刷
印刷部数 3,000部
配付対象 みどりの実践団体

(3) 地域活動育成事業

県内5カ所に設置している地区推進協議会において、市町村等と連携を図りつつ、かながわのナショナル・トラスト運動の普及啓発を行った。

- ア 三浦半島地区推進協議会
 - (ア) 地域イベントにおける普及啓発
全国植樹祭横須賀葉山会場
 - (イ) 自然観察会
開催日 平成22年11月7日(日)
場 所 小網代の森緑地
参加者 10名
- イ 県央地区推進協議会
 - (ア) 地域イベントにおける普及啓発
海老名市緑化まつり
 - (イ) 緑の書道コンクール
対 象 県央地区小・中学校(参加91校)
応募数 5,554点(入選 110点)
審査会 平成22年10月13日(水)
表彰式 平成22年12月11日(土)
展示会 県厚木合同庁舎ほか7カ所(平成22年12月13日~23年2月25日)
- ウ 湘南地区推進協議会
 - (ア) 地域イベントにおける普及啓発
みどりフェアちがさきほか7カ所
 - (イ) 湘南・グリーンコネクション2010
開催日 平成22年11月17日(水)

会 場 茅ヶ崎市コミュニティホール

参加者 121人

エ 足柄上地区推進協議会

(ア) 地域イベントにおける普及啓発

ごみゼロアクションinあしがら

(イ) 自然観察会

開催日 平成22年9月25日(土)、23年2月19日(土)

場 所 ふくざわ公園、中河原梅林ほか

参加者 37人

オ 西湘地区推進協議会

(ア) 地域イベントにおける普及啓発

全国植樹祭サテライト会場ほか1ヵ所

(イ) 園芸講習会

開催日 平成22年10月17日(日)

場 所 小田原合同庁舎

参加者 34人

(ウ) 自然観察会

開催日 平成22年2月5日(土)

場 所 中河原梅林ほか

参加者 17人

(4) 地区会報等の発行

かながわのナショナル・トラスト運動の紹介、会員募集、トラストみどり基金の募金並びに地域活動事業を題材にして、会報を作成発行し、この運動を推進した。

ア 三浦半島地区推進協議会 「みどりのまち」第28号 1,000部

イ 県央地区推進協議会 「みどりのまち」第30号 2,500部

ウ 湘南地区推進協議会 「みどりのわ湘南」第30号 2,800部

エ 足柄上地区推進協議会 「みどりのまち足柄」第18号 500部

オ 西湘地区推進協議会 「西湘みどりのこだま」第27号 2,000部

(5) 相模原地域緑化活動事業

相模原市地域では、従来県北地区推進協議会が設置され財団の支部として活動してきたが、相模原市の政令市移行を契機に同協議会は平成21年度末をもって解散したため、平成22年度からは、相模原市域を対象に当財団と同様にみどりを守り育てる活動をしている(財)相模原しみどりの協会と当財団が協働の取組を行うこととなり、みどりの実践団体の育成、地域の緑化推進等の業務を同財団に委託して実施した。

ア 樹木配布事業

相模原地区みどりの実践団体 12団体

サツキほか24種 1,292本

イ みどりの実践団体育成事業

(ア) 初年度奨励金1団体

(イ) 研修会

開催日 平成23年1月29日(土)

- 場 所 相模原市立博物館
 参加者 19名
 ウ 普及啓発事業
 緑の書道コンクール
 対 象 相模原市内小中学校 (参加59校)
 応募数 2,631点 (入選 70点)
 審査会 平成22年10月5日 (火)、19日 (火)
 表彰式 平成22年11月27日 (土)
 展示会 相模原市役所ほか (平成22年11月27日 (土) ~平成23年1月10日 (祝・月))

4 緑地保全事業 (48,023,145円)

緑地所有者と緑地保存契約を締結するとともに市町の緑地等指定事業への助成を行った。

(1) 緑地保存契約の締結

6箇所の緑地について、緑地所有者と保存契約を行い保全を図った。

また、久田緑地において保存契約の拡大を行った。

緑地名	緑地総面積	保存契約対象面積 (A)	保存契約面積 (B)	契約率 (B/A)	契約期間	年間賃借料
葛葉緑地 (秦野市)	153,123.95㎡	78,545.84㎡	57,661.84㎡	73.4%	10年	2,921,757円
久田緑地 (大和市)	100,036.00	82,043.00	70,510.00	85.9	10年	4,843,134
泉の森緑地 (大和市)	80,052.31	40,516.46	28,505.38	70.4	10年	3,622,714
川名緑地 (藤沢市)	78,943.00	25,757.00	6,315.00	24.5	10年	108,815
大崎緑地 (逗子市)	70,936.70	54,177.70	17,544.70	32.4	10年	1,438,665
小網代の森緑地 (三浦市)	574,500.00	85,999.00	85,999.00	100	10年	52,879
6緑地 計	1,057,591.96	367,039.00	266,535.92	72.6		12,987,964

(2) 市町村緑地等指定事業への助成

市町が緑地所有者との契約により緑地保全を図る事業に助成した。

市町	緑地等指定面積	申請額	助成金交付予定額	助成率
横浜市他15市町	1,106,785.29㎡	56,137,382円	24,000,000円	42.8%

(3) トラスト緑地維持管理

トラスト緑地の維持管理として、草刈り、枯損木処理、散策路整備等を実施した。

(4) 緑地保全コーディネート事業

ア 小網代の森保全対策協議会

財団、県、有識者、保全活動団体等で構成する協議会を開催し、小網代の森の利用、保全対策、管理活動等について意見交換を行った。

開催日 平成22年7月12日(月)

会場 神奈川県民サポートセンター

イ トラスト緑地保全支援事業

三つのモデル緑地において、自主的に保全活動にあたる3団体に対して活動費の一部を助成した。

(ア) 小網代の森緑地(小網代野外活動調整会議)

これまでに行った植物や水棲生物等の調査結果を基に、植生や湿地回復作業など、湿原生態系の再生に着手した。

(イ) 久田緑地(久田緑地くらぶ)

里山における資源循環を目指して、竹の伐採などの維持管理作業を行い、伐採された竹チップの堆肥化に取り組んだ。

(ウ) 桜ヶ丘緑地(桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト)

植生調査を行い、水辺と雑木林での多様な生き物を育む環境作りのための活動計画の策定に取り組んだ。

ウ トラスト緑地保全支援事業対象緑地視察会

トラスト緑地保全支援事業の対象緑地である久田緑地の視察会を開催した。

開催日 平成22年8月7日(土)

場所 大和市久田緑地

参加者 17名

内容 自然観察

5 県民参加の森林づくり事業

(47, 417, 770円)

(1) ボランティア活動推進事業

県民参加による豊かな森林づくりを推進するため、県民、企業、団体等を対象に下刈り、枝打ち、間伐等の森林づくり活動を開催した。また、学校等の森林体験学習等を積極的に支援を行い、さらに自主的に森林づくり活動等を展開する団体への支援を行った。

ア 活動実績

区分	活動内容	回数	面積(ha)	延人員(人)
一般ボランティア実践活動	・植栽、下刈り、枝打ち、 間伐、竹林整備	12	11.12	818
森林づくり体験講座	・森林に関する講話 ・植栽、下刈り、枝打ち、 間伐、広葉樹林整備	8	3.85	247
計		20	14.97	1,065

イ 小中高生等の森林学習支援

各学校が主体で行う森林学習や森林づくり体験へ指導者の斡旋や道具の貸出し、活動に対する調整を行った。

対応学校 延べ22校 内容 森林学習・自然観察・森林作業

参加者 2, 199名

ウ 自立型活動団体支援

森林づくり活動や里山整備活動を行っている自主的活動団体へ活動経費の一部を助成・支援した。

15団体（日向山うるわし会ほか14団体）

エ 緑のボランティア交流の集い

県内各地の森林・里山・緑地などで緑のボランティア活動を行っている団体、個人の交流を図った。

開催日：平成23年2月12日（土）

開催場所：ティーズ横浜パシフィック

参加者：78名

(2) 森林インストラクター事業

県民の森林への理解を深めるための普及啓発やボランティア活動等の円滑な推進を図るため、森林インストラクターの育成及びボランティア活動への指導者派遣等の支援を行った。

ア 森林インストラクター派遣事業

県内の各種団体等が実施する森林づくり活動や自然観察会などに神奈川県森林インストラクターを派遣した。

派遣回数 89回 参加人数 3,977名

イ 神奈川県森林インストラクター派遣調整事務の委託

財団主催のボランティア活動推進事業、森林インストラクター派遣事業に係る森林インストラクターの人選、調整、派遣等について、的確かつ迅速に対応するために、NPO法人かながわ森林インストラクターの会に派遣調整等の事務を委託した。

調整回数 131回 派遣人数 663名

ウ 森林インストラクターブラッシュアップ事業

神奈川県森林インストラクターを対象に指導者としての資質向上を図るため、森林講話の持ち方、丹沢の自然、間伐手法と安全管理等に関する研修を実施した。

講座回数 3回 受講者 153名

エ 神奈川県森林インストラクター養成事業

子ども達の森林体験学習や県民の森林づくり活動の多様化等にも対応し、指導体制の充実を図るために、第12期森林インストラクター養成講座（第1年次）を開講した。

講座日数 13日 受講者 35名

(3) 森林づくり普及啓発事業

県民の森林への理解を深め、森林づくりへの参加を促進するため、森林・林業に関する普及啓発活動を行った。

ア 街頭キャンペーン・水源林の集い等の実施

県、森林関係団体等で構成する、県民との協働による森林づくり実行委員会に参加し、街頭でのキャンペーン、水源林の集い、新定着型ボランティア事業などを実施した。

(ア) 街頭キャンペーン

開催日：平成22年5月29日～10月29日（延べ6日）

場所：横浜みなとみらい21地区臨港パーク（第28回横浜開港祭会場）

ほか2箇所

参加者：3,743名（アンケート回収人数）

内容：水源林紙芝居、クイズ、水源涵養の実験、丸太切り体験コーナー、木工教室、リーフレットの配布、募金活動

(イ) 水源林の集い

開催日：平成22年8月21日(土)

場所：やどりき水源林（松田町寄）

参加者：215名（県民、水源林パートナー等）

内容：水源林の観察や植樹・育樹、参加者の交流

(ウ) 新定着型ボランティア

場所：やどりき水源林、魚止めの森、煤ヶ谷水源林、ヤビツの森

団体数：19団体

内容：県所有の水源林の一定エリアについて、自主的に森林づくり活動を行う団体に対し支援を行った。

イ 成長の森事業

赤ちゃんが誕生した家族から広葉樹の苗木の寄付を受け、県と財団が連携して森林づくりに取り組み、現地見学会の開催等、子どもの健やかな成長と苗木の生長を実感できる機会を提供し、かながわの森林への理解増進を図った。

参加者数 886家族 1,074名

ウ やどりき水源林案内人事業

県民に「水源の森林づくり」に関する理解を深めるため、「水源かん養機能の高い見本林」として整備している「やどりき水源林」に毎週土曜日と日曜日（12月から2月を除く）に「森の案内人」を配置し、水源の森林づくりの解説や豊かな森林の案内を行った。

配置場所：やどりき水源林（松田町寄）

配置人員：222名

(4) 県民運動推進事業

県民運動実施に係る事務費等や県民参加の森林づくりを計画的・着実に推進するため、職員を配置し森林の機能や大切さ等に関する普及啓発活動やボランティア活動の企画及び関係機関との連絡調整等を行った。

6名（常勤）

6 受託事業

(2,401,000円)

(1) (社) 国土緑化推進機構受託事業

(社) 国土緑化推進機構から次の業務を受託し実施した。

ア 緑の募金公募事業

国民参加の森林づくり運動を推進するため、(社) 国土緑化推進機構が公募事業として実施する森林整備や緑化推進の事業に取り組む団体に対し、事業の普及啓発と応募の支援を行った。

応募：5団体、採択：5団体（NPO神奈川育林隊ほか）

イ 学校環境緑化モデル事業

学校環境の緑化を通じて、青少年環境教育の推進を目的に学校敷地内の緑化や環境教育フィールドの整備を行う学校に対し支援した。

申請：5校、採択：2校（伊勢原市立大山小学校ほか）

ウ 緑の募金推進体制整備交付金

「緑の募金」の推進体制整備、普及啓発・広報及び募金活動の展開についての取り組み強化等を行うための支援を受けた。

エ 緑と水の森林基金事業

全国植樹祭で着用する緑の少年団の制服配備やサテライト会場での植樹活動支援を実施した。

(2) (社) ゴルファーの緑化促進協力会受託事業

(社) ゴルファーの緑化促進協力会から受託し公共施設等の緑化を実施した。

応募：6団体、採択：6団体（江の島みちルネッサンス推進会議ほか）

7 緑の募金事業

(24, 162, 483円)

(1) 会議の開催

緑の募金関係機関連絡会議

開催日 平成22年9月7日（火）

場 所 県横浜西合同庁舎

(2) 地域緑化の推進

ア 学園緑化事業

緑の募金協力校等が実施する環境緑化（167校29団体）に対し支援した。

イ 指定校緑化事業

緑の募金協力校の中から、神奈川県教育委員会及び神奈川県学事振興課の推薦を得て、学校環境緑化に積極的に取り組む学校16校を指定し、学校緑化を実施した。

ア 公立学校の部（13校）

小学校 横浜市立日吉台小学校 ほか3校

中学校 川崎市立東高津中学校 ほか6校

高等学校 県立横浜国際高等学校 ほか1校

イ 私立学校の部（3校）

森村学園初等部 ほか2校

ウ ふれあい緑化事業

地域住民等が自主的に行う植樹活動の支援及び県民への苗木配布を実施するとともに「緑の募金」「かながわのナショナル・トラスト運動」の普及を図った。

(ア) 植 栽 川崎市稲田公園ほか 11箇所 482本

(イ) 苗木配布 秦野市総合体育館ほか 5箇所 905本

エ 丹沢の緑を育む集い

本財団並びに神奈川県、秦野市、清川村などで構成する「丹沢の緑を育む集い実行委員会」に参加し、丹沢大山地域において県民参加による、森林衰退域への植生回復及びウラジロモミ等の防護ネットを設置した。また、ボランティアとの協働による三ノ塔周辺での植栽や広域での保全活動として、水質調査や登山者数の調査等を実施した。

(ア) 植生回復事業（植樹）

実施日 平成22年5月22日（土）ほか1回

場 所 三ノ塔周辺

植樹等 ブナほか3種 800本（丹沢産の種子を育苗した苗木）

参加者 250名

(イ) モニタリング防護ネットの設置

実施日 平成22年9月25日（土）

場 所 三ノ塔
 内 容 NPOの実施するモニタリング活動に参加した。
 参加者 8名

(ウ) 防護ネットの設置

実施日 平成22年9月25日(土)
 場 所 堂平
 樹種等 ウラジロモミ等 新設2本、交換108本
 参加者 42名

(エ) 広域保全活動事業

水質調査等2回、体験学習2回

(オ) ボランティア団体活動助成事業

ボランティア団体に対し、苗木の支援等を行った。

オ 市民植樹事業

緑の協力員が実施する緑化推進等の活動を支援した。

- ・全国植樹祭南足柄市実行委員会

カ 全国植樹祭サテライト会場行事支援事業

第61回全国植樹祭サテライト会場における植樹事業等へ支援
 ・相模原会場ほか8会場

(3) 募金活動事業

平成22年3月1日から平成23年2月28日まで、学校、職場、街頭等において、緑の募金運動を展開し、次のとおり成果を得た。

緑の羽根募金	16,685,801 円
緑化グッズ募金	5,964,900 円
計	22,650,701 円

(4) 緑の少年団育成事業

森林での体験学習活動、地域での社会奉仕活動、レクリエーション活動等を行う緑の少年団の育成強化と活動支援を実施した。

ア 緑の少年団交流集会の開催

開催日：平成22年10月9日(土)～10月10日(日)
 場 所：箱根町元箱根、県立芦ノ湖キャンプ村
 参加者：53名

イ 緑の少年団連絡調整会議

開催日：平成22年5月29日(土)
 場 所：プロミティあつぎ
 参加者：11名

ウ 全国植樹祭行事への参加

全国植樹祭に参加し、各種の役割を担った。

(5) 緑化運動・育樹運動コンクール開催事業

緑化運動・育樹運動コンクールを実施し、入賞者を表彰した。

ア 表彰日 平成22年11月14日(日)

イ 会場 県立地球市民かながわプラザホール

ウ 入賞者等(上位入賞作品は(社)国土緑化推進機構主催全国コンクールへ出品)

(ア) ポスター原画コンクール(応募点数 644点、入賞点数 50点)

		小学校	中学校	高等学校	合計
応募点数		342	262	40	644
賞の選定数	最優秀賞	1	1	1	3
	金賞	4	4	1	9
	銀賞	5	4	1	10
	銅賞	6	6	1	13
	佳作	8	7	0	15
	合計	24	22	4	50

(イ) 標語コンクール(応募点数 444点、入賞点数 44点)

		小学校	中・高等学校	一般	合計
応募点数		188	197	59	444
賞の選定数	最優秀賞	1	1	1	3
	金賞	3	3	1	7
	銀賞	4	4	1	9
	銅賞	4	5	1	10
	佳作	6	7	2	15
	合計	18	20	6	44

(ウ) 学校関係緑化コンクール(学校環境緑化の部)

応募校 1校、入選校(金賞) 1校

エ 平成23年用国土緑化運動・育樹運動コンクール(主催(社)国土緑化推進機構)

(ア) ポスター原画コンクール

文部科学大臣賞(特選) 1名、国土緑化推進機構理事長賞(入選) 1名

(イ) 標語コンクール

入選 1名

(ウ) 学校関係緑化コンクール(学校環境緑化の部)

国土緑化推進機構会長賞(準特選) 1校